

白河市

令和4年度 当初予算 (案)



令和4年2月15日 1

令和4年度当初予算（案）

予算総額
（一般会計）



286億8,000万円

（前年度比 $\triangle 0.4$ 億円・ $\triangle 0.1\%$ ）

【歳入】 286億8,000万円 (△0.1%)

一般財源 総額

183億7,488万円 (+2.1%)

1 市 税 90億6,772万円
(+4億8,406万円・+5.6%)

2 地方交付税等 72億1,922万円
(△2億872万円・△2.8%)

うち地方交付税 ① 66億円
(+15.4%)

臨時財政対策債 ② 4億円
(△72.8%)

震災復興特別交付税 2億1,922万円
(△7.9%)

※【再掲】実質的な交付税 (上記①+②の計)
70億円 (△2.6%)

3 各種交付金 20億8,794万円
(+5.4%)

特定財源 総額

103億 512万円 (△3.9%)

4 国県支出金 66億4,758万円
(△1.4%)

5 繰入金 9億7,807万円
(△7.4%)

うち財政調整基金繰入額 7億円
(△6.7%)

6 市 債 17億7,930万円
※臨時財政対策債を除く (△9.2%)

7 その他 9億17万円
(△6.9%)

【歳出】

286億8,000万円 (△0.1%)

1 義務的経費 **134億2,432万円**
(+2.9%)

うち人件費 49億8,875万円
(+1億7,291万円・+3.6%)
扶助費 51億8,043万円
(+5,686万円・+1.1%)
公債費 32億5,514万円
(+1億4,308万円・+4.6%)

3 一般行政経費 **115億32万円**
(△1.2%)

下水道事業への支出 13億3,635万円
ワクチン接種事業 2億1,099万円
道路維持修繕 1億4,303万円
など

2 投資的経費 **37億5,536万円**
(△6.8%)

※国補正予算により前倒しで予算化
(令和3年度1月補正)

道路改良事業 4億6,771万円



実質的な令和4年度の投資的経費
42億2,307万円 (+4.9%)

うち道路・街路整備 18億2,511万円
学校整備 8億131万円

(注) 金額について、表示単位未満の端数は、記載区分毎に四捨五入している。

令和4年度 当初予算（案）のポイント

コロナ禍を乗り越えて 未来への布石を打つ

アフターコロナ

育

てる

子どもが健やかに
成長できる白河

白河っ子すくすく応援クーポン券支給事業
インフルエンザ予防接種費用助成事業
新生児特別給付金支援事業 など

暮

らす

誰もが活躍できる
暮らしやすい白河

高齢者見守り生活支援事業
しらかわセーフロード事業
脱炭素チャレンジしらかわ事業 など

楽

しむ

愛着と誇りが持てる
楽しい白河

しらかわ観光ステーション整備事業
風月の芸術祭（福島ビエンナーレ2022in白河）開催事業
南湖公園史跡整備事業 など

※虹は7つの重点施策

地域の将来を担う人を**育**て
いきいきと**暮**らせる**楽**しい白河

ウィズコロナ

白河市の未来へ虹をかける 7つの重点施策

1 産業の振興

2 女性・若者を応援

3 地域の魅力向上

4 ウィズコロナ・アフターコロナ

5 市民の暮らしを守る

6 デジタル化の推進

7 脱炭素チャレンジ



産業の振興



生活の基盤となる産業の振興を図ります。

新たな働き方を実現するサテライトオフィスの推進、開設費用等を補助

継続 サテライトオフィス推進事業 17,870千円

- 令和3年度に人材育成センター内に整備したサテライトオフィス（ラ・クリエイションプラス）をはじめ、市内へ企業を誘致
- サテライトオフィスの開設や運営に必要な費用を補助



〔ラ・クリエイションプラス〕

白河の魅力を知ってもらい、「白河ファン」を増やし、農産物の販路を拡大

新規 白河が応援、白河を応援プロジェクト事業 20,000千円

- 「知ってもらおう」「食べてもらおう」「来てもらおう」の視点のもと、県外に観光や農産物等の情報を発信
- 新聞広告やインフルエンサーによる情報発信、進学相談会での合格祈願米（本市産コシヒカリ）物販などを実施



〔本市の魅力を発信〕

情報通信技術（ICT）を活用して、省力化や高品質生産を実現

拡充 農業の未来をつくるスマート農業推進事業 14,000千円

- 農業技術の向上や生産の効率化に資するICT機器及びロボット技術導入に要する経費の一部を補助
- 補助対象経費500万円以上については、補助上限を50万円上げ150万円に



〔収量・食味測定コンバイン〕

女性・若者を応援



女性や若者が暮らしやすいまちづくりを実現します。

将来を担う子ども達の健やかな成長に向けて、子育て世代の経済的負担を軽減

【拡充】白河っ子すくすく応援クーポン券支給事業 41,905千円

- 1歳児以下を対象とした「白河っ子すくすく赤ちゃんクーポン券」事業（年間3万円）を3歳児までに拡大
- 紙おむつやミルク等に加え、衣類、玩具など対象品目も年齢に合わせて拡大
- 額面を2,500円券から1,000円券に変更し、使いやすさを向上



〔現在のクーポン券〕

【拡充】インフルエンザ予防接種費用助成事業 12,235千円

- 助成対象を中学3年生のみから生後6か月～中学生に拡大するとともに、妊婦を追加
- 1回2,500円を助成



（イメージ）

〔感染症対策を拡充〕

介護職を志す若者を支援し、地域の介護人材を確保

【新規】福祉・介護人材確保支援事業 9,414千円

- 介護職を志す専門学校生に対し、入学準備金、就職準備資金各11万円の支援金制度を新たに創設
- 介護人材を養成するしらかわ介護福祉専門学校に対し、白河市、西白河郡全体で支援



〔しらかわ介護福祉専門学校〕

地域の魅力向上



足元にある資源を磨き、地域の魅力向上を図ります。

白河駅舎の風情を活かした観光交流拠点を整備

継続 しらかわ観光ステーション整備事業 145,270千円

- 新たな「体験型観光案内所」として白河駅に隣接する建物を活用して整備
- 隣接するコンピエーニュ広場やイベント広場と連携し白河駅周辺からの新たな人の流れと賑わいを創出



〔しらかわ観光ステーション整備イメージ〕

市内の歴史的資源と現代アート作品がコラボした芸術祭を開催

継続 風月の芸術祭（福島ビエンナーレ2022in白河）開催事業 5,000千円

- だるまや狛犬など市内の歴史的資源を活用し、商店街や寺院などに著名なアーティストによる現代アート作品を展示
- アーティストと高校生とのコラボレーション作品を制作



〔福島ビエンナーレ2020in白河〕

四季折々に風趣に富んだ南湖公園を楽しく散策できる園路を整備

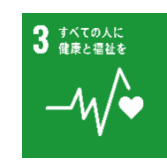
継続 南湖公園史跡整備事業 37,860千円

- 北東岸の店舗前の足場の悪い箇所にボードウォークの設置や眺望に支障のある枝の剪定を実施



〔南湖北東湖岸〕

ウィズコロナ・アフターコロナ



感染症の拡大防止やアフターコロナを見据えた事業を展開します。

新型コロナウイルスワクチン接種の加速化

継続 新型コロナウイルスワクチン接種事業 214,543千円

- 3回目のワクチン接種を前倒しして「白河方式」で速やかに実施
- 65歳以上の高齢者は、3月上旬までに終了予定
- 18～64歳は、5月中旬に終了を予定



〔接種会場の様子〕

コロナ禍で心理的に不安を抱えながら出産する妊産婦と新生児を応援

継続 新生児特別定額給付金支援事業 20,078千円

- 令和4年度に生まれた新生児の保護者へ5万円を給付



(イメージ)

〔新生児の健やかな成長を願う〕

白河の暮らしやすさを実感してもらい、移住を推進

新規 白河お試し住宅まちなかベース整備事業 7,249千円

- 中心市街地エリアの空き家を改修し、「暮らし体験住宅」として整備
- 改修には、建築デザインを学ぶ大学生のアイデアを生かすなど、産学官民が連携



〔中心市街地エリア〕

市民の暮らしを守る



市民に身近な生活環境を整備し、暮らしを守ります。

見守り活動や買い物支援による高齢者福祉の充実

継続 高齢者見守り生活支援事業 19,377千円

- 移動販売車 2 台で市内の高齢者サロンや集会所、個人宅等を巡回し、高齢者世帯の見守りや買い物支援等を実施
- 定期的な電話による安否確認と相談で、高齢者世帯の孤立防止



〔移動販売車による買い物支援〕

道路側溝等の改修を推進し、居住環境の向上と歩行者の安全を確保

拡充 しらかわセーフロード事業 200,000千円

- 老朽化した側溝の改修を集中的に実施



〔側溝改修状況〕

交通弱者の移動手段確保のため、乗合タクシーを運行

拡充 予約型乗合タクシー実証実験事業 10,475千円

- 高齢者や障がい者など交通弱者の外出支援のため、予約型乗合タクシーの実証実験を表郷、大信、東地域で継続して実施
- 令和 4 年度から新たに小田川・大沼地域を追加



〔乗合タクシー（東地域）〕

デジタル化の推進



市民生活の利便性を向上させるため、デジタル化を推進します。

「情報格差」是正に向けたスマートフォン教室の開催

新規 デジタル・デバイド対策事業 898千円

- 高齢者向けの「スマホ教室」を通信事業者等と連携して実施
- マイナンバーカードのオンライン申請を併せて行う



〔スマートフォン教室を開催〕

いつでも、どこからでも行政手続きができる環境を整備

拡充 ICT活用行政スマート化事業 18,491千円

- オンライン化ツール（LOGOフォーム）や国で整備するサービス（ぴったりサービス）を活用し、行政手続きのオンライン化を推進
- 申請手続きは市公式LINEにより誘導

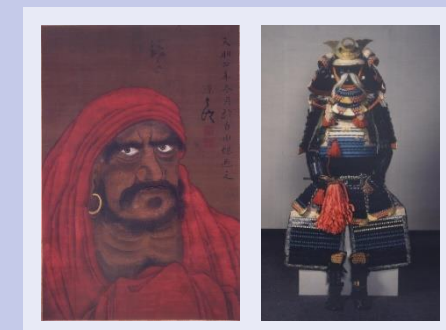


〔行政手続きのオンライン化を推進〕

美術工芸品等をデジタル化し、白河市の歴史・文化的な魅力を発信

新規 しらかわデジタルミュージアム公開事業 5,973千円

- 本市所蔵の美術工芸品や古文書等の文化財をデジタル化し、市ホームページ上で公開
- 自宅で手軽に閲覧することが可能



〔松平定信筆「達磨図」と「忠秋甲冑」〕

脱炭素チャレンジ



環境負荷を軽減して次世代へとつなぐため、脱炭素に取り組みます。

ゼロカーボンシティの具体化と市民の関心を高める取組みを推進

新規 脱炭素チャレンジしらかわ事業 19,403千円

- 産学官民の連携した脱炭素の取組み
- 大学の専門的知見を活かした実行計画の策定
- 企業の取組みと連携した環境啓発学習会の実施
- 市民からの公募によりエコ・スローガンを決定
- 給電設備を設置し、公用車の電動車化をさらに推進



〔ゼロカーボンシティ宣言式典 (R3.10) 〕

学校施設のLED化を実施し、ゼロカーボンシティを推進

新規 小中学校施設照明LED化推進事業 9,040千円

- 小中学校施設照明をLED化し、環境負荷を軽減
- LED化により学校施設の維持管理費も削減



〔照明LED化済み教室 (白河第二中学校) 〕



白河市一般会計予算額 286億8,000万円
(うち重点推進事業分 69億1,481万円)